

ゆきの灯り

第108号
 令和8年1月発行
 油木協働支援センター
 TEL 82-0701
 FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



令和8年

恭賀新春



新年のごあいさつ

油木協働支援センター長 今岡一憲

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、油木協働支援センターの運営並びに行事等に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

油木地域を挙げての大きなイベントである「ゆきふるさとまつり」も、再開3回目を迎え自治振興会をはじめ各種団体や住民の皆様方のご理解とご協力をいただき、賑やかに開催することができました。町内外からの多数の来場者があり、大きな盛り上がりの中で無事終えることができました。改めて関係の皆様へ感謝申し上げます。

「ゆき軽トラ朝市」は全6回開催され、物販販売を通じて賑わいの創出と地域コミュニティの場として定着しています。

他の部会活動に於いても地域課題解決に向けて、それぞれの分野で多種多様な活動が行われ、部会活動を中心とした地域活性化の取り組みを推進していただきました。



令和7年11月15日



例年、「ゆきキッズクラブ」の活動で作られた「しめ飾り」が玄関を飾ります。



令和7年11月22日（しめ縄作り）

また、生涯学習の推進では、子どもから大人まで「学び」を通じた「日々の楽しみや生きがい」づくりが積極的に行われています。故西川功氏が遺された「化石・鉱石」を展示公開する「にしかわ化石館」は、今年開館5周年の節目を迎えます。今後更に、「地域遺産の伝承」「学習の拠点」としての存在価値を高めていきたいと考えます。

本年も、自治振興会・各部会等との連携を図りながら「住民主導の協働のまちづくり」に向けて取り組んで参ります。改めまして、ご指導・ご理解を賜りますよう、よろしくお願ひします。そして、本年が皆様にとりまして、幸せで平穏な年になりますようお願いし、新年のご挨拶いたします。

令和8年は「丙」「午」の年
 丙（ひのえ）は、十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また午（うま）は、古くから人間とともに生きてきた動物。駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。そのため丙午（ひのえうま）の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になると考えらるそうです。

神石高原町文化連盟総合文化祭美術部門（10/30～11/1）／油木ブロック総合文化祭演芸部門（11/23）開催

誰もが気軽に「文化・芸術」に触れることができる環境や機会が大切ですよね。



- 出演—
- コーラス山びこ
 - 浪漫会 竹神会
 - トリプル和 仙養すずめ
 - こすもすの会
 - 油木気功教室
 - 油木ズンパサークル

出演された方々の熱演の様子は、HPにて紹介させていただいています。

神石高原町文化連盟総合文化祭演芸部門は、令和8年3月8日（日）：やまなみ文化ホールにて開催される予定です。



大杉 登作「まつぼっくり」（彫塑）



大杉 登作「孫」（彫塑）



横山 敬重作「感謝」（書）

◆お立ち寄りの際には、是非ご鑑賞ください◆

横山敬重さん（書作品）・大杉淳一さん（故大杉登さん彫塑作品）から、「油木小学校」「シルトピア油木」「油木郵便局」へ美術作品の寄贈がありました。「まちかど美術展」として、地域作者のアートを身近に感じることで、少しでも地域文化の醸成・向上に寄与できれば良いですね。

12月のゆきキッズ

楽しく、一年の活動を締めくくりました。

■料理教室⑤（12月6日）

講師：大西智子先生
「クリスマスケーキ（カップケーキ）」作りに挑戦しました。生地から作り始め、カップに入れて焼いた後、缶詰の果実等をトッピングして完成させました。

■蕎麦打ち教室（12月13日）

講師：赤木健二先生
地元産「蕎麦粉」を使用して「蕎麦打ち」を行いました。全員が「練る・伸ばす・切る」の一連の作業を体験し、「かけそば」を美味しくいただきました。

■お茶教室⑤（12月20日）

講師：小田緑先生・神石高原町女性会油木支部の皆さん
クリスマス丸葉終（ホーリー）を活けたテーブル席で立礼式の茶会をしました。家族の方の参加もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



「ゆきキッズクラブ」指導者の皆様、本年もよろしくお祈りします。



「化石出前講座」in 御調町(尾道市)

— 主催：尾道市河内公民館 / 尾道市市公民館 —

12月11日（木）：御調西小学校、16日（火）：御調中央小学校と2週続けて「化石出前講座」を開催しました。

令和5年度より御調西小学校で開催している講座ですが、今回初めて御調中央小学校の6年生も「化石出前講座」を通じて、「本物体験学習」を行いました。

両校の子どもたちは真剣に話を聞き、熱心に化石クリーニング作業を行うと「あっという間」に時間が過ぎていきました。

「本物」に触れることで、理科の授業が更に深まれば良いですね。是非、「にしかわ化石館」へも来館してください。



御調西小学校



御調中央小学校



化石魅力化プロジェクトでは、「化石」を通じて「地域のお宝の価値を高める活動」や「生涯学習の推進」に協力していただける方を募集しています。活動の活性化にアイデアと力を貸してください。お問合せ：油木協働支援センター

毎日食べても飽きないパン、作りませんか？④

作りませんか？④

12月2日（火）、平田サア子先生の指導で「パン教室④」を開催しました。

第4回は「マンデルシュトレン」「チョコシフォンケーキ」作りを学びました。

発酵・焼成のための待ち時間も楽しみみの方で、協力してクリスマス用の美味しそうな菓子が仕上がりました。



蕎麦打ち体験教室

12月4日（木）18日（木）、前原孝史先生の指導で「蕎麦打ち体験教室①②」を開催しました。

講師が蕎麦打ち作業の手本を披露した後、水の加減や蕎麦粉の空気を抜く等のアドバイスを受けながら、年越しに向けて「天空の蕎麦作り」の極意を学びました。



令和8年「にしかわ化石館」は開館5周年を迎えます!!

にしかわ化石館	町内	140名	広島県外からは、東京都・愛知県・神奈川県・兵庫県・岡山県・福岡県・長崎県より、「にしかわ化石館」への訪問がありました。
来館者	町外	95名	
R7. 1~12	計	235名	

「にしかわ化石館」は、神石高原でかがやく、「もの」「ひと」「こと」に認定されています。（神プレミアム）



一わが家で話し合おう！（参考：秋田県教育委員会・秋田県教育庁生涯学習課「家庭教育支援ガイドブック」）

★地域で子どもを見守り育てましょう（油木協働支援センター）

わが家で話し合おう！ プラス1

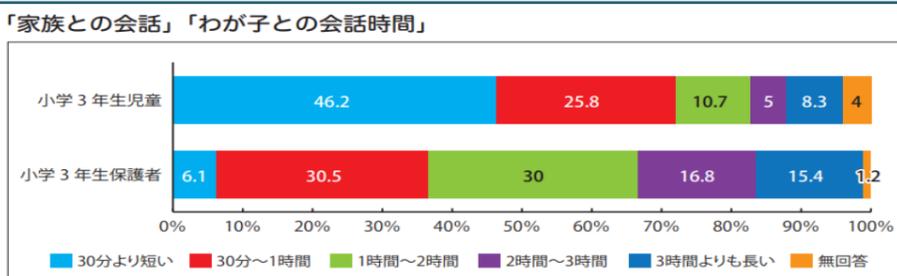
家族が笑顔になるために大切にしたいことを、みんなで話し合ってみましょう。

わが家のルール



親子でしっかりコミュニケーションを！

小学校3年生の児童と保護者では、会話をしていると考える時間に著しい差があります。30分未満と答えた児童が46.2%であるのに対して、保護者はわずか6.1%です。保護者が思うほど、子どもは会話をしていると思っていない。一方的に話すことは会話になりません。子どもの声に耳を傾ける姿勢が大切です



出典 公益財団法人日本教材分科研究財団「家庭教育と親子関係に関する調査研究」平成28年9月